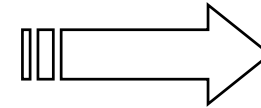


第 2 回にぎわいづくり部会資料

- 御池通の目標像・論点 P 1
- 前回の意見の概要 P 2
- アンケート結果の概要 P 3
- 大学生との懇談会 意見の概要 P 5
- 今までの意見の概要 P 6

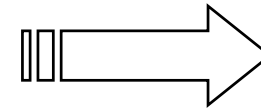
< 求められている御池通の目標像 >

シンボルロードとしてふさわしい
建物景観の形成



● 景観形成部会で検討

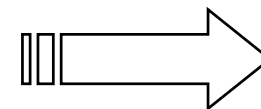
にぎわいと文化の創出



● にぎわいづくり部会で検討

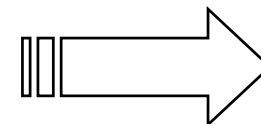
- にぎわいの方向性について
- 利用者層について
- 店舗・施設について
- イベントについて

花と緑が溢れる憩いの環境



○ 憩いの環境づくりについて

パートナーシップによる育み



○ 組織や仕組みについて



取組に応じて、引き続き検討

< にぎわいの方向性（御池通の位置づけ）について >

- 大阪や神戸や東京には真似の出来ない特徴が必要ではないか。
- 河原町通や四条通との違いをどう考えるのか。

< 利用者層について >

- 時間帯や曜日で異なることを考えておく必要がある。
- ターゲットを定めて、それに合ったお店・品揃えが必要である。
- 学生と高齢者、スローライフ中心という意見が出たが、この二つだけでよいのか。

< 店舗・施設について >

- 飲食店や食料品を売る店が必要ではないか。
- 経済同友会とフィレンツェで、イタリアの技術と京都の伝統技術とを融合したような商品を作っていくということを議論している。できたものを御池通で紹介できないか。
- 自治連合会が会合や催しをするのに気軽に借りられるような場所があればよい。

< イベントについて >

- 毎週どこかでイベントがあればいいと思う。
- イベントについては今やれることをやる必要がある。

< 憩いの環境づくりについて >

- 自転車の走り方、ごみの散乱の問題がある。
- シンボルロードとしての品格を作っていくためには、身近な事をもっとやる必要がある。

< 組織や仕組みについて >

- 御池通でどのように賑わいづくりを進めていくかという組織や仕組みも大きな論点である。
- 経済団体だけでなく、自治連合会の横のつながりが必要である。
- まちを盛り上げていく雰囲気、自治連合会や学区で作っていくことが必要ではないか。

< 御池中学校について >

- 賑わい施設についてもっと具体的な議論が必要。設計の段階から考える必要がある。
- 御池通の店舗、商業の特性、個性をどう作っていくかと密接に関わっている。賑わいづくり部会とどうリンクをさせながら進めていくのがいいのか。

< 今後の進め方について >

- どんな店をどう誘致したらよいかを考えるグループが必要である。店舗誘致の問題、イベントの問題と2つに分けてやっていくことも必要ではないか。
- 大学コンソーシアム京都を通じて、学生の意見を集めてはどうか。

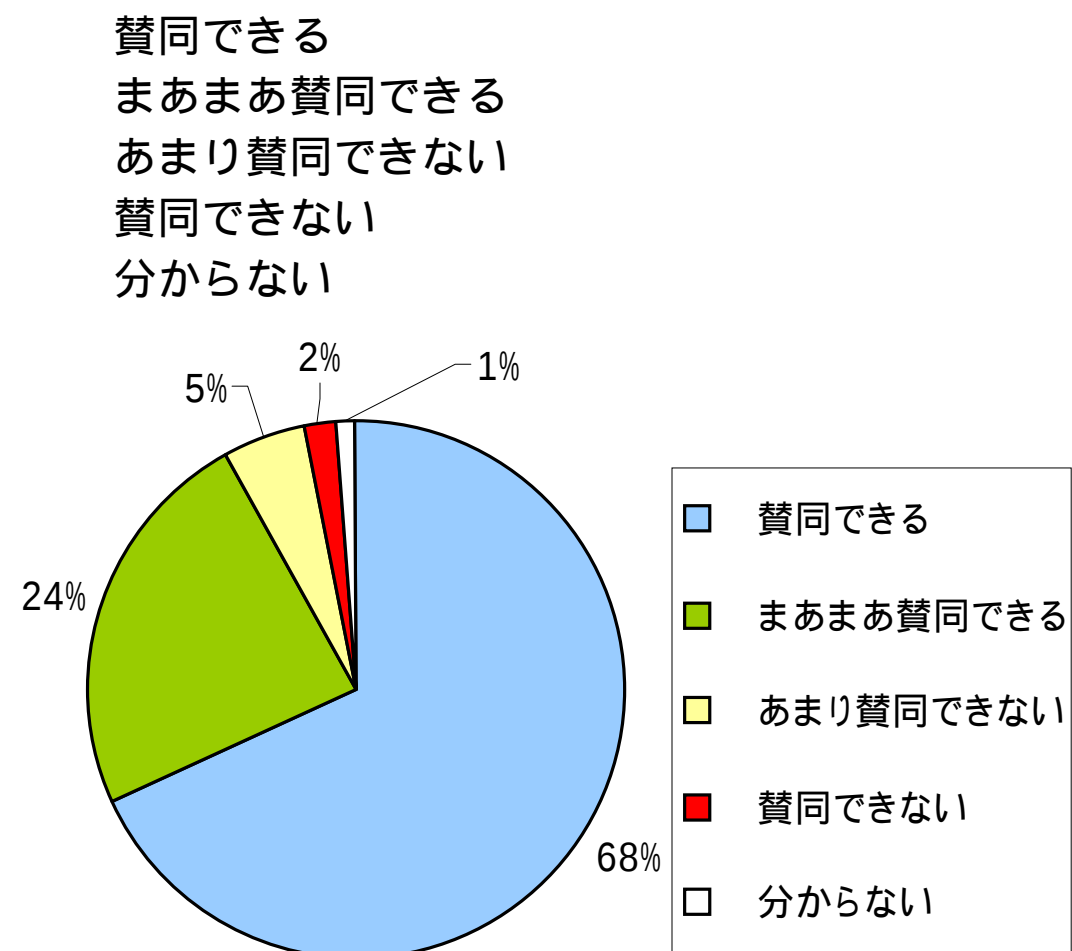
1 アンケート調査について

○ 調査概要

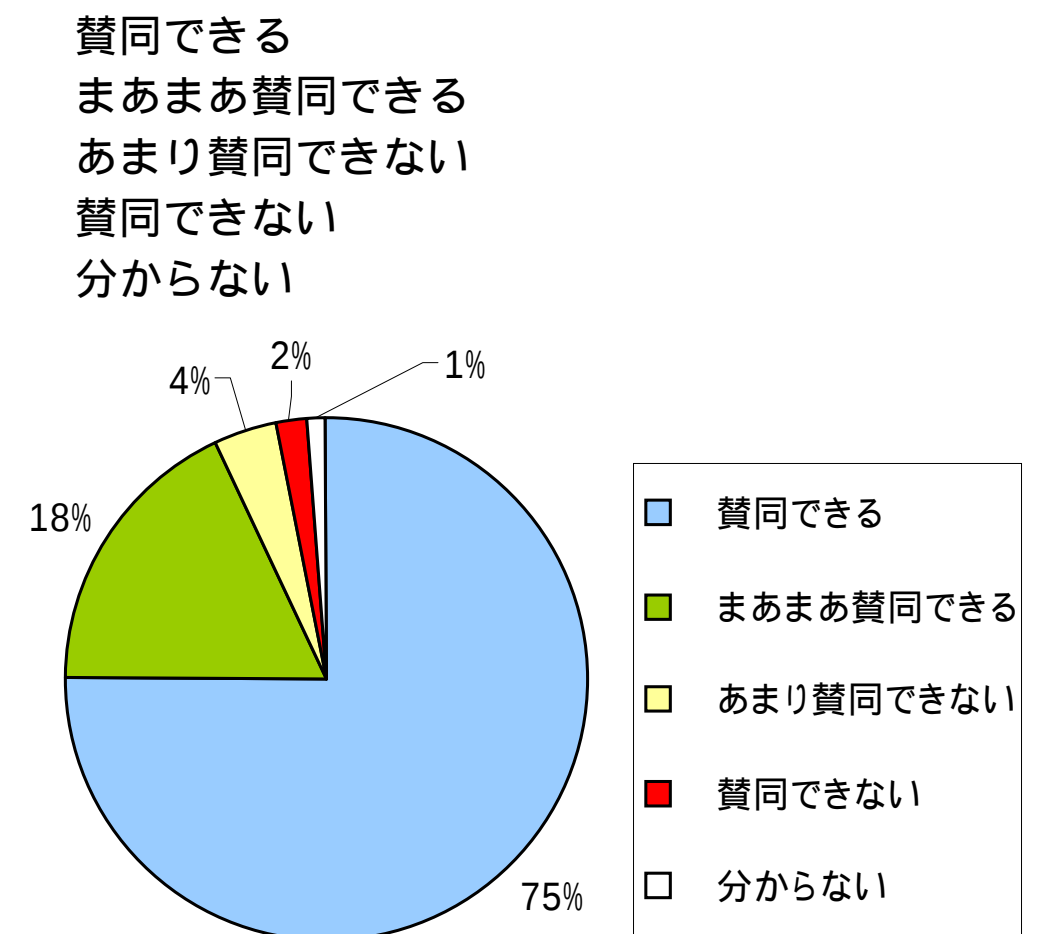
平成15年3月31日（月）御池沿道の住民及び地権者等計641人に対してアンケート調査票を送付し、166の回答を得た（有効回答率＝25.9％）。

2 にぎわいづくりに関する結果

問4：にぎわいと文化の創出についてどう思われますか？



問5：花と緑が溢れる憩いの環境についてどう思われますか？



にぎわいづくりに関しての自由意見（抜粋）

「店舗の誘致」について

- 気軽に立ち寄れる喫茶店やおしゃれなカフェ等の設置
- 飲食店の誘致
- 若い人が求める集客力のある店舗の誘致
- IT関連の店舗
- 京都の老舗の誘致
- 京都の食、菓子、料理を知ってもらう店舗
- 京都ブランド又は老舗にこだわらなくてもよい。
- 文化施設や文化ホール、ギャラリー
- 伝統産業の体験教室

「イベントの創出」について

- 常にどこかの小空間でイベントが開かれているのがよい。
- 定期的にイベントを続けることによって、「にぎわい」が生まれる。
- 地域主体のイベントの開催
- 安価で借りられる展示会用会場の設置
- イルミネーション
- 花の市の開催
- フリーマーケット、作品展、手作展
- 静かな生活を望むのでイベントには消極的

「憩いの環境」について

- 京都の中心地において、花と緑で快適な散歩道
- 四季の花が楽しめる街路
- 植栽の維持管理を沿道の人も協力できないか。
- 名所・旧跡・店舗などを入れた地図の作成
- トイレの設置
- バス停に設置されたベンチはいいと思う。
- 放置自転車の撤去、駐輪場の設置が必要
- 歩道の清掃を周辺地域やボランティアも協力

4 大学生との懇談会 意見の概要

5月7日（水）にキャンパスプラザ京都において、御池沿道関係者協議会座長・座長代理と大学生6名との懇談会が行われた。

市内のどこで過ごすか？

- ・四条
- ・京都駅周辺

その時どんなお店や公共施設に行くか？

- ・洋服屋
- ・ケーキ屋
- ・本屋

どの通り周辺をぶらぶら歩くか？

- ・四条
- ・木屋町
- ・川端通
- ・鴨川沿い
- ・出町柳
- ・三条
- ・新風館
- ・寺町通
- ・北山通

御池通のイメージは？

- ・ビジネス街
- ・広くて綺麗
- ・歩きやすい
- ・歩道がよく整備されている。
- ・わざわざ歩いて行くというイメージではない。
- ・夕方6時以降は暗くて、学生には関係ない。
- ・ビルばかり建っているビル街
- ・アイランド・レイクの噴水やライトアップが気に入っている。

御池通にどんなお店があれば利用すると思うか？
また、もし御池通に出店するとしたらどんなお店を出すか？

- ・値段が控えめなお店
- ・飲食店
- ・落ち着いて座れるレストラン

- ・食べ歩き出来るような手軽なレストラン
- ・本が読めるカフェ
- ・町家を利用したカフェ
- ・テラス系レストラン
- ・屋台
- ・ファッション関係
- ・洋服屋
- ・若者向けブランド洋服店
- ・ファッション雑貨
- ・開放的な店舗
- ・大人向けのデートスポット
- ・週末過ごせるお店
- ・夜利用できるお店
- ・映画
- ・カジノ

御池通でどんなイベントをしてみたいか？

- ・音楽系
- ・テーマを決めたフリーマーケット
- ・夜のイベント
- ・定期的なイベント
- ・市役所前広場を活用したステージイベント

もし、両親や祖父母と一緒に御池通を歩くとしたら、
どんな通りがいいか？

- ・休める場所があればよい。
- ・小さな子供も連れて歩ける通り
- ・いろんな層の人を対象としたのんびり出来る通り

その他の意見

- ・ライトアップをしてはどうか。
- ・御池通でのイベントの広報が少ないのではないかな。
- ・周辺の案内や情報誌があればよい。

< にぎわいの方向性（御池通の位置づけ）について >

- 大阪や神戸や東京には真似の出来ない特徴が必要。
- パリのシャンゼリゼみたいな通り。
- グランドデザインの策定。
- 「にぎわい」と「うるおい」があり商売ができる通り。
- 建物の1階の店舗化により、歩いて楽しい通りを作る。
- 「憩う」「安らぐ」「集う」空間として活用する方向。
- 河原町通や四条通との違いをどう考えるのか。
- 御池通が生活者のためのゾーン化をしていくことが大事。
- 出店を希望する店にどんどん来てもらうのでは、雑居的な店の連続になり、後々問題が起こる。
- 有名な日本画家が住んでいたことを活かす。
- 親鸞上人の碑を活かす。

< 利用者層について >

- 1つに絞る必要はない。時間帯や曜日で利用者層が違うことを考えておく必要がある。
- ターゲットを定めて、それに合ったお店、品揃えが必要。
- シニア層に主眼を置いたにぎわい。
- 若い人を集めるような魅力が必要。
- 学生と高齢者、スローライフ中心という意見が出たが、この二つだけでよいのか。
- 生活者に重点を置くのか、あるいは観光客か、どちらかに分けないと難しいと思う。

< 店舗・施設・品揃えについて >

- 喫茶店、カフェ。
- 飲食店。
- 有名店、ブランドショップ、ブティック、老舗の誘致。
- 楽しい店舗の集積。
- 核となる拠点的な店舗。
- フィレンツェで、イタリアの技術と京都の伝統技術とを融合したような商品を作っていくことを議論している。できたものを御池通（学校施設）で紹介できないか。
- 京都の伝統産業、伝承産業を展示・販売する場所。（学校施設、その他）
- 物産店、郷土工芸品店の誘致
- 食料品を売る店が必要。
- 日常の買物ができる店舗の誘致
- 観光案内所の設置
- ゼストの活性化
- 城巽中学校跡地に文化施設

< イベントについて >

- 定期的に（毎週、毎月）どこかでイベントがあればいい。
- イベントについては今やれることをやる必要がある。
- フリーマーケットや日曜市。
- オープンカフェ
- 歩くイベント（スタンプラリー、御利益巡り）。
- 市役所広場で常時イベント。
- 二条城築城400年記念事業と連携したイベント。
- 仙台市の光のページェント等、イルミネーション
- 大学生を対象にした「大学祭」の開催。
- 盆踊りなど、高齢者なども対象にして、季節のイベントを考えて集客してはどうか。
- 高齢者用にぎわい市。
- 楽しい店舗の集積。
- 伝統産業を展示・発表する催し。
- 縁日広場的活用。
- 祭りに合わせた地域による出店
- パフォーマンス用の舞台
- 嶋臺で句会
- 自治連合会が会合や催しをするのに気軽に借りられるような場所があればよい。
- 歩道の活用

< 憩いの環境づくりについて >

- 緑の多い通り（四季の花が咲く植え込み、木陰、芝生）
- 建物前面の民地内に植込みを設ける。
- 花や木に水をやるなど、維持管理に沿道の者が協力
- 植栽スペースの確保
- 緑の中で座れる、憩える環境づくり
- ベンチの設置、公園の設置
- まちの駅の活用
- ホタルの生息の促進と保護
- 緑と水（親水空間、水飲み場、せせらぎ）を増やす。
- 朝、夜にウォーキングが盛んになる工夫
- シンボルロードとしての品格を作っていくためには、身近なことをもっとやる必要がある。
- 放置自転車、自転車の走り方、ごみの散乱の問題がある。
- 「御池通を美しくする会」の発足、一斉清掃の日などの設定
- 自社ビル前の清掃
- 公衆トイレの清掃、維持管理
- トイレの設置
- 歩行者と自転車の共存
- 自転車通行の安全確保
- 暴走族の騒音問題、マナー問題（たばこのポイ捨て、犬の糞問題等）

< 憩いの環境づくりについて・前ページからの続き >

- 防犯対策としての見回り
- 交番の設置
- 夜間照明を明るくする。
- ビルの窓に明かりをつける。
- イベント時の周辺画街区の交通規制（駐車問題）
- 駐車場の整備
- 100円バス、自転車タクシーの利便性拡大
- 地下鉄の出入り口の増設

< 組織や仕組みについて >

- 御池通でどのように賑わいづくりを進めていくかという仕組みや組織も大きな論点。
- パートナiershipによるまちづくり。
- 沿道事業者のネットワークが必要。
- 情報交換、意見交換が行えるようなコミュニケーションの場の提供。
- 経済団体だけでなく、自治連合会の横のつながりが必要。
- まちを盛り上げていく雰囲気、自治連合会や学区で作っていくことが必要ではないか。
- 大学コンソーシアム京都を通じて、学生の意見を集めてはどうか。
- 専門家のアイデア募集、コンペの開催

その他

< 御池中学校について >

- 賑わい施設についてもっと具体的な形で議論が必要。設計の段階から考える必要がある。
- 自治連合会、商工会議所の協力がないと、この賑わい施設が実効性のある形になってこない。
- 御池通の店舗、商業の特性、個性をどう作っていくかと密接に関わっている。にぎわいづくり部会とリンクさせながら進めてほしい。